

# 令和8年度岐阜県高次脳機能障がい支援養成研修 (基礎研修・実践研修) 開催要綱

本研修は「高次脳機能障害支援養成研修実施要綱」(令和8年4月7日付け厚生労働省障発 0407第1号、障精発0407第3号)に基づき実施するもので、令和6年度障害福祉サービス等加算改定において新設された「高次脳機能障害支援体制加算(Ⅰ)(Ⅱ)」及び「高次脳機能障害者支援体制加算」の算定要件となる研修です。

## 1 目的

高次脳機能障害についての知識を得ることやその障害特性を理解することで、高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を実施できる、障害福祉サービス事業所等に従事する支援者を養成することを目的とします。

## 2 主催者

岐阜県

## 3 実施主体

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会(岐阜県委託事業)

## 4 対象者

- ・岐阜県内に所在する障害福祉サービス事業所に従事する職員
- ・基礎研修、実践研修のいずれも受講できる方

## 5 研修形式・日程・会場・受講決定

### 【基礎研修】

講義 (オンデマンド配信)	日時	令和8年7月17日(金)～8月14日(金)
	実施方法	講義動画の視聴(オンデマンドによる限定公開) ※受講確認のため、レポート提出(メール送信)が必要です。
	レポート	【提出期限】令和8年8月14日(金) 17:00必着
演習 (集合型研修)	日時	令和8年8月31日(月) 9:30～16:30
	会場	不二羽島文化センター 4階大会議室 (羽島市竹鼻町丸の内6丁目7番地)

### 【実践研修】

講義 (オンデマンド配信)	日時	令和8年9月9日(水)～10月7日(水)
	実施方法	講義動画の視聴(オンデマンドによる限定公開) ※受講確認のため、レポート提出(メール送信)が必要です。
	レポート	【提出期限】令和8年10月7日(水) 17:00必着
演習 (集合型研修)	日時	令和8年10月23日(金) 9:30～16:30
	会場	不二羽島文化センター 4階大会議室 (羽島市竹鼻町丸の内6丁目7番地)

※各演習(集合型研修)の受講可否については、レポート提出後、演習当日の3日前までにメールにてお知らせします。

## 6 カリキュラム

別紙のとおり

## 7 定員

50名

※原則、各事業所1名のみの受講とします。


※定員を超える申込みがあった場合は、高次脳機能障がいへの支援状況や昨年度の申込み状況等を考慮し受講者を決定します。

## 8 受講料

- ・無料（通信費、交通費等は受講者負担）
- ・オンデマンド配信の資料は、受講決定時に送付するメール記載のURLにより、各自でダウンロードしてください。

## 9 募集期間・受講申込み

令和8年6月10日(水)～7月10日(金)

「岐阜県社協研修W I N Cシステム」から必要事項を入力し、お申し込みください。  申込用QRコード

○岐阜県社協研修 W I N C システム <https://gifu.fukushijinzei.jp/trainingManagement/entry>

※システムを初めてご利用される等の場合は、マニュアル（PDF）をご参照ください。

[https://gifu.fukushijinzei.jp/trainingManagement/templateFile/2025027\\_outlin.pdf](https://gifu.fukushijinzei.jp/trainingManagement/templateFile/2025027_outlin.pdf)

<注意事項>

- ・原則、岐阜県社協研修W I N Cシステムから、事業所単位でお申し込みください。（個人申込不可）
- ・申込の際に入力された情報は、受講決定及び修了証書発行等に必要になりますので、入力漏れ、誤字、脱字等のないようご注意ください。
- ・申込完了後、申込み時に登録されたメールアドレスあてに申込完了メールが送付されます。

## 10 受講決定の通知

- ・受講の可否に関わらず、申込締切後2週間以内に申込時の担当者あてにメールにてお知らせします。
- ・講義(オンデマンド配信)開始日の3日前になっても通知がない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

## 11 修了証書の発行

- ・基礎研修及び実践研修の修了者には、各研修ごとに修了証書を発行します。
- ・修了証書の発行には、各研修の全課程を修了することが必要です。

## 12 留意事項

- ・本研修は上記加算対象となる研修であるため、遅刻、早退、途中退席があった場合は原則として修了認定ができません。また、研修主催者において受講態度が不良と判断した場合についても修了認定ができません。
- ・基礎研修を修了されなかった場合は、実践研修は受講できません。
- ・本研修申込時の情報は研修開催業務にのみ使用します。研修修了者名簿については、岐阜県保健医療課において管理します。

## 13 お問い合わせ先

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会（岐阜県福祉人材総合支援センター 担当：広瀬・高橋）※委託先  
電 話 058-278-1823 / メール kenshu-center@winc.or.jp

## 令和8年度 岐阜県高次脳機能障がい支援養成研修カリキュラム

<基礎研修>	<p>◆対象：全ての障害福祉サービスの新人・若手職員等</p> <p>◆研修のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害者について知る。</li> <li>・ 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する。</li> </ul>
--------	---

	時間	科目	内容
I 講義	360		
高次脳機能障害支援者 基礎研修とは	40	基礎研修の趣旨説明	本研修の対象となる障害・研修の構成
高次脳機能障害とは		障害の定義	高次脳機能障害の定義・Q&A・各論の紹介
高次脳機能障害の診断 ・評価	40	障害特性の理解	典型画像と経過・症状の現れ方
病院で行うリハビリ テーション	40		問診・神経心理学的評価
			【日常生活で気づくこと・留意すること】
失語症とコミュニケー ション支援	40	失語症とコミュニ ケーション支援	医学的リハビリテーション 病院から地域へ 【診断書のポイント・地域支援体制】
制度利用	40	制度利用	失語症と具体的な対応の要点
相談支援	40	地域におけるリハ ビリテーション	障害者手帳と総合支援法サービスを中心に 情報収集とアセスメント
自立訓練	40		自立訓練（生活訓練・機能訓練）における 支援の取組
復職・就労移行支援	40		障害福祉施設及び障害者雇用施策における 取組
生活と支援の実際	40		就労継続支援B型事業所の例から
II 演習	360		
障害特性の理解－症状 のみかた	90	検査・評価体験	「順唱」や「半側空間無視」等の体験（注 意や記憶の働き等の理解） MMSE/WAIS など、基本対応
障害特性に応じた支援	90	退院時の実際 情報収集とアセス メント	課題提示 グループ検討・発表 解説・質疑
自立訓練の実際	90	自立訓練の実際	課題提示 グループ検討・発表 解説・質疑
復職・就労移行支援	90	復職・就労移行支援	課題提示 グループ検討・発表 解説・質疑

令和8年度 岐阜県高次脳機能障がい支援養成研修カリキュラム

＜実践研修＞	<p>◆対象：サービス管理責任者、相談支援専門員などの高次脳機能障害者支援の経験者等</p> <p>◆研修のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携（チームアプローチ）の重要性を理解する。</li> <li>・高次脳機能障害者の支援の短期的な方向性（個別支援計画等）を立てることができるようになる。</li> </ul>
--------	--

	時間	科目	内容
I	講義	320	
	障害特性に応じた支援・地域の支援体制	40	障害特性に応じた支援
	認知症・発達障害との共通点と相違点	40	地域における高次脳機能障害の支援体制
	小児期における支援	40	認知症・発達障害との共通点と相違点
	長期経過とフォローアップ	40	ライフステージに応じた支援
	多職種連携・地域連携；チームアプローチの重要性	40	小児期発症の高次脳機能障害の特徴／復学支援
	多職種連携・地域連携；家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動	40	各ライフステージにおける高次脳機能障害の特徴／支援
	コミュニケーション支援	40	チームアプローチの重要性と支援の原則
	支援の実践的な枠組みと記録	40	家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動
	自動車運転再開支援	40	高次脳機能障害者家族支援
		40	コミュニケーション支援（地域生活・職場での支援）
		40	失語症・高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の理解
		40	支援の実践的な枠組み・プロセス／アセスメント票と支援の手順書の理解／記録方法
		40	高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項などの理解
	II	360	
	演習	180	高次脳機能障害者の心理と対応法の理解
	障害特性の理解と対応方法	180	1.障害特性の理解と対応方法
	環境調整による支援と記録に基づく支援の評価	180	2.障害特性とアセスメント
			障害特性に基づくアセスメント
			グループワーク（障害特性の把握と対応方法のディスカッション）
			対応方法演習（ロールプレイ）
			グループワーク及び発表（対応方法の振り返りと支援計画検討）
			強みや好みを活かす視点
			環境調整の考え方
			環境調整の方法
			行動の記録の方法
			記録の整理と分析
			再アセスメントと手順書の修正
			チームアプローチを学ぶ（個別支援計画作成演習）
			グループ検討／まとめ